

令和2年度 自己評価

綾東こども園

1. 園の教育目標

事業の目的

「園の主人公は子どもである」という一貫した基本認識に立ち、園の運営・教育・保育は「子どもの最大の利益を図る」ことを念頭に置きながら、地域に根差しその活性化に貢献していく

教育・保育方針

生きる力の基礎を育み、豊かな人間性を持った子どもを育てる

保育理念

子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され地域にも愛されるこども園をめざす

綾東こども園が育てる子ども像

☆丈夫な心と体で終わりまで頑張るこども

☆思いやりを持ち友だちと仲良く遊べるこども

☆豊かな感性と創造性をもつこども

2. 本年度の目標・計画

- ・一人ひとりに寄りそった保育の推進
- ・主体的に自然に親しんで五感を育て、またあそびを通して協調性や協働性を育てていく
- ・保育の質の向上を図る

3. 評価項目の達成及び取組状況

主な評価項目	取組状況
教育及び保育 ・全体的な計画等	・新年度職員会議にて、全職員に理念をはじめ方針、全体的な計画などを配布し、読み合わせや意見交換をした上で周知を図る。 ・子どもを主体的に考えた行事のありかたを話し合い、誕生会や運動会の従来の形を工夫する。
・教育及び保育の内容	・全学年で自然環境を積極的に取り入れた保育を推進する。職員間で情報交換をし、あそびの共有ができるようにした。 ・園内研修として通年で臨床心理士を講師に招き、一人ひとりの成長に寄り添った関わりや保護者支援を重点的に学ぶ。 ・身体表現をテーマにした園内研修も引き続き行い、子どもの内面からの表現を引出し、育ちの蓄積を確認する。研究成果については、日本保育学会でポスター発表をした。更に来年度に向けて計画を継続している。

主な評価項目	取 組 状 況
<ul style="list-style-type: none"> •教育・保育の記録等 	<ul style="list-style-type: none"> •各クラスで年間カリキュラム・月週案を作成 •個別記録を日々行い、年度末に全園児の指導要録を作成して引継ぎ資料にしている •乳児・支援児については個別の指導計画を作成し日々の記録をとっている
<ul style="list-style-type: none"> 幼小中連携 	<ul style="list-style-type: none"> •東綾、上林両小中一貫校とは年間の連携計画を立てるも、感染症予防の観点から中止・縮小されることが多かったが、できる方法で小学生との交流を行った。進学先とは違って小学校を訪問したり、上級生に優しく接してもらったりすることで小学校への期待感が高まる経験ができた。 •中学生の職場体験を通して小中を通した育ちの課題を教育現場の先生方と共有する機会となった。
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育 	<ul style="list-style-type: none"> •担当者と全職員が、該当児の発達の変化や、具体的な支援の方法など情報共有し、安定した関わりができるよう職員会議やミーティングで機会を設けた。 •必要に応じて保護者との面談を行い、保護者の気持ちに寄り添いながら、クラスまたは園の中で無理なく楽しく過ごせる手だてを探っていった。また卒園にあたり進学校の選択やスムーズな引継ぎのため、保護者・各機関との連絡を密におこなった。 •外部の関係機関を訪問したり面談したりしながら、該当児にとって必要な支援や育ちの援助について情報共有した。
<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止等 	<ul style="list-style-type: none"> •緊急性のある事態は発生していない。支援が必要とされる家庭には、行政関連機関等と連携し対応している。
<ul style="list-style-type: none"> 健康・衛生管理 事故防止・安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> •各種マニュアルを整備し安全管理を実施している。 •毎月避難訓練を実施し、園児や職員それぞれに必要な安全や対策の意識を高めていっている。 •園庭や運動ひろば、遊具などの安全点検を毎月職員が行っている。不具合があった場合には対策を考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携 •子育て支援 •地域との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> •未就園児子育て支援拠点事業「たけのっこくらぶ」で、園や地域の公民館で週 2 回催事を行い、また毎日のように園庭開放をするよう計画するが、特に年度初めは感染症予防のため活動を休止することも多かった。 •一時預かり事業は申し込みが少なかった。保育経験のある子どもだったため専任保育士のフォローなく年齢該当のクラスで対応できた。 •これまでHPやブログ、園だよりの回覧などを通じて園の様子を情報発信してきたが、コロナ禍による誹謗中傷を恐れて公開を懸念してしまった。園内掲示やビデオレターなどで発信するにとどまった •地域や地域の高齢者施設の皆さんとの交流でふれあいを大切にしてきたが、制限が多く例年のようにはいかなかった。今後は通信媒体などを通して、形をかえた交流の機会を模索したい。

主な評価項目	取 組 状 況
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度から行っているランチルームの活用が定着し、こどもと職員の動線を確保するだけでなく、新型コロナウイルス感染予防においても、接触や密を避ける意味で有効であった。 ・畑やプランターで栽培した野菜や、裏山のフキや梅を収穫し、クッキングをすることで、食に興味をもったり苦手な野菜を食べられるようになったりしている。 ・献立には旬の食材を取り入れ季節を五感で味わえるようにしている。また栄養士も一緒に簡単なおやつクッキングをして楽しんで食育に取り組んだ。

4.園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭はじめ関わる全職員が、養護を基盤にした子どもの育ちの保証を掲げるところを理解し、連携をとりながら丁寧な保育教育をしようとする様子が見られた。しかし、人によって価値観もスキルも差がでるため、お互いが得意分野でカバーし合いながら自己啓発していけるような指導及び研修を必要とされる。 ・新型コロナウイルスという未曾有の脅威に対応するも、全てが手探りで何が正解かもわからないまま1年を過ごした。いろいろな計画が見直しとなり制限も多くなったが、その中から楽しいことを見つけようとする子ども達のやる気に力や希望をもらい、職員同士で何度も話し合いを重ね、子どもが主体であるという園の方針に立ち返ることができる見直しの年になったと思われる。
--

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート記入による目標管理面談を年3回導入し自己評価の習慣が定着しはじめた。今後はPDCAサイクルにのっとり日々の保育教育を振り返りながら、養護に基づいた子どもとの丁寧な関わりや、子どもの成長に寄り添った指導計画が立案できるように、更なる園内研修を行い個別に自己研鑽が取り組めるようにする。
保育教諭の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修、園内研修を通して、集団でまた個々の子どもの成長や発達を見極め、その時に必要な支援や環境作りの学びを深めていく。 ・職員のそれぞれのスキルに合わせた(外部・園内)研修を選択あるいは企画し、全職員がスキルアップできるようにする。また向上にむけたフォローをしていく。

令和2年度
認定こども園運営
自己点検・自己評価表

法 人 名	社会福祉法人 綾東保育園
園 名	綾 東 こども園
評価した者の氏名	園 長 渡 邊 友 子
評 価 年 月 日	令 和 3 年 3 月 3 1 日

自己点検・自己評価項目		評価		
		1 出来ている	2 出来ていない	3 対象外
1 運営規程	<ul style="list-style-type: none"> •運営(管理)規程を作成していますか。また、実態と相違していませんか。 •職員や利用者に規程を周知していますか。 	1		
2 施設整備	<ul style="list-style-type: none"> •基準に定められている設備を有していますか。 【職員室・保育室・遊戯室・保健室(事務室と兼用可)・調理室・トイレ・手洗用設備及び足洗用設備・飲料水用設備] ※乳児室、ほふく室、沐浴設備、調乳設備 •園児一人あたりの面積基準を満たしていますか。 •満3歳以上の園児については、学級を編成していますか。また、学級数だけ保育室がありますか。 •建物の構造や部屋の用途に変更がある場合は所定の手続きを行っていますか。 •保育室等の清掃、衛生管理、保温、喚気、採光等は適切ですか。 •カーテン、カーペット等は防災加工されたものを使用していますか。 	1		
3 園児	<ul style="list-style-type: none"> •認可定員を遵守していますか。 	1		
4 教育及び保育の内容に関する全体的な計画等	<ul style="list-style-type: none"> •教育及び保育の内容に関する全体的な計画の作成をしていますか。 •長期的な指導計画(年・期・月)を作成していますか。 •短期的な指導計画(週・日)を作成していますか。 •個別指導計画を作成していますか。 •3歳未満の個別指導計画を作成していますか。 •障がい児の個別指導計画を作成していますか。 •教育・保育の内容などの評価、反省を行い質の向上や改善に努めていますか。 	1		
5 教育及び保育の内容	<ul style="list-style-type: none"> •認定こども園内外での適切な研修計画を作成し、実施していますか。 •0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を園児の発達連続性を考慮して展開していますか。 •在園時間が異なる多様な園児がいることを踏まえ、園児の生活が安定するよう、家庭や地域、園における生活の連続性を確保し、一日の生活リズムを整えるよう工夫していますか。 	1		

自己点検・自己評価項目		評価		
		1 出来ている	2 出来ていない	3 対象外
6 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> •個々の園児の障がいの状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行っていますか。 	1		
7 教育・保育の記録等	<ul style="list-style-type: none"> •園児の育ちに関する帳票を整備していますか。 (身体測定の記録・健診結果の記録・教育及び保育経過の記録・疾病、既往歴の記載・保護者等家族についての記載等) 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •日誌や児童出席簿を適正に整備していますか。 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •個人情報を適切に取り扱っていますか。 	1		
8 小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> •「認定こども園要録」「幼保連携型認定こども園園児指導要録」を作成し就学の際は、小学校へ送付していますか。 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •小学校教育への円滑な接続に向けて、小学校の児童の交流の機会を設けたり、小学校教師との意見交換、合同の研究の機会を設ける等の連携を行っていますか。 	1		
9 虐待防止等	<ul style="list-style-type: none"> •虐待等の状況が見受けられないか、日々子どもや保護者の様子に留意し早期発見に努めていますか。 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •不適切な療育の兆候が見られる場合は、市や関係機関と連携していますか。 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •園内において、児童の心身に有害な影響を与える行為をしていますが。園として、予防措置を講じていますか。 	1		
10 健康・衛生管理 事故防止・ 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> •学校医・学校歯科医による健康診断および歯科検診を適正な時期に実施していますか。 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •学校保健計画を作成する際は、全ての職員がそのねらいや内容を明確にしなが、子ども一人ひとりの健康の保持及び増進に努めていますか。 	1		
	<ul style="list-style-type: none"> •各種マニュアルを整備していますか。また職員に周知していますか。 (感染症及び食中毒・児童の事故防止・危機管理等) 	1		

自己点検・自己評価項目		評価			
		1 出来ている	2 出来ていない	3 対象外	
11 保護者との連携	・感染症または食中毒が発生、もしくは発生が疑われる場合は、速やかに関係機関に報告するとともに必要な措置を講じていますか。	1			
	・与薬する場合は、薬連絡票に記入してもらおう等適切に預かり、誤飲がないよう対策を講じていますか。	1			
	・SIDS(乳幼児突然死症候群)防止のため仰向けに寝かせる。定期的に睡眠時の状態を観察し記録する等、必要な措置を講じていますか。	1			
	・心肺蘇生等の研修を行っていますか。	1			
	・災害や事故の発生に備えるとともに、外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練など不足の事態に備え必要な対応を図っていますか。	1			
	・園児の様子や日々の教育及び保育の意図などの説明を通じ、保護者との相互理解を図るよう努めていますか (送迎時の対応・連絡帳・掲示板・園だより・参観・懇談会等)	1			
	12 教育・保育時間	・毎学年の教育課程に係る教育週数は、特別の事情のある場合を除き、39週を下ってはいませんか。	1		
		・1日の教育課程に関わる教育時間は標準4時間としていますか。 また、保育を必要とする園児に対する教育及び保育の時間は1日につき8時間を原則としていますか。	1		
		・保育需要に応じて、適正に教育・保育時間を設定していますか。	1		
		・年末年始以外に一斉休園や協力日を実施していませんか。 ・協力日を実施している場合、保護者の理解は得ていますか。	1 1		
13 地域との連携	・地域のニーズに応じて子育て支援事業を以下から1つ以上実施していますか。 * 親子の集いの場の提供等による情報提供・相談支援 * 地域の課程に対する情奉提供相談支援事業 * 一時預かり事業 * 保護者と地域の育て支援団体等との連絡・調整事業 * 地域の子育て支援者に対する情報提供・助言事業	1			

自己点検・自己評価項目		評価		
		1 出来ている	2 出来ていない	3 対象外
14 苦情解決体制	<ul style="list-style-type: none"> •苦情解決体制において、苦情解決責任者、苦情受付担当者が選任されていますか。 •第三者委員が選任され委嘱状が交付されていますか。 •苦情解決の体制及び手順について利用者、家族等へ周知していますか。 •苦情解決の記録は書面によって整備していますか。 •苦情解決の実績等を公表していますか。(個人情報に関するものを除く) 	1		
15 食事提供	<ul style="list-style-type: none"> •給与栄養目標量(食事摂取基準)を適正に設定していますか。 •「食品構成表」を作成していますか。 •献立に基づき給与栄養量、充足率を算定していますか。 •給与栄養量は、目標量を満たしていますか。 •予定献立表、実施献立表を作成していますか。 •保護者等に対する献立の提示等を行っていますか。 •離乳食がある場合、発達に応じた献立表を作成していますか。 •サイクルメニューの期間は適切ですか。 •献立は季節感を取り入れるなど、変化に富んだ内容になっていますか。 •嗜好調査や残食調査を実施し、その結果を献立に反映させていますか。 •アレルギー対応の必要な園児や障がい児など個々に応じて、かかりつけ医や保護者との連携を図りながら適切に対応していますか。 •アレルギー対応の必要な園児がいる場合、個々に合わせた献立表を作成していますか。 •「アレルギー対応マニュアル」を職員に周知するとともに、誤食防止のための、必要な措置を講じていますか。 •給食提供未実施の日が頻繁にありますか。また未実施の場合、保護者の理解を得ていますか。 •延長保育を実施している場合、間食を提供していますか。 •給食会議は、園長、(栄養士・調理員)保育教諭等が参加し、適切に開催していますか。また記録を整備していますか。 	1		

自己点検・自己評価項目		評価		
		1 出来ている	2 出来ていない	3 対象外
16 委託・外部搬入 の場合 (1号の場合も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・契約関係書類を適切に整備し、通知に基づいて次のような内容を明記していますか。 <ul style="list-style-type: none"> * 園と受託業者の業務分担及び経費負担 * 特定教育・保育施設給食の趣旨を認識し、適正な食材を使用し所要の栄養量が確保される調理を行うこと * 調理従事者の大半は、当該業務について、担当の経験を有するものであること * 調理従事者に対して、定期的に衛生面・技術面の教育・訓練を実施すること * 調理従事者に対して、定期的に健康診断・検便を実施すること * 受託業者に対して、施設側から必要な資料の提供を求めることができること * 契約書の事項を履行しなかった場合の契約会場 * 代行保証に関すること * 園に損害を与えた場合の損害賠償に関すること * 業務に関して知り得た個人情報の秘密保持 ・契約の履行状況を確認していますか。 			3

